

## 研修会報告

平成 28 年 12 月 20 日

文責：血液部門員 加賀淑子

### 血液部門研修会

研修会テーマ「血液検査のモヤモヤを解消～ベーシックを活かそう！～」

開催日時 平成28年12月17日(土) 13:30～16:30

会場 東北大学医学部臨床中講堂

#### 【講演・講師】

1. 「測定機器は皆様の右腕です」

シスメックス株式会社仙台支店 カスタマー課 清水義彦先生

2. 「誤差要因を考慮したCBCデータを報告するための基礎知識」

岩手医科大学付属病院 中央臨床検査部 千葉拓也技師

3. 「特徴点からみる末梢血液像のHow-to～正常細胞と悪そうな細胞～」

東北大学病院 検査部 菅原新吾技師

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員55名、非会員1名、実務委員7名 計63名

#### 【内容】

今回の血液部門研修会は、「血液検査のモヤモヤを解消～ベーシックを活かそう！～」をテーマに開催した。はじめに、新しい試みとして通常各施設へ赴き機器修理にあたっているサービスの方に講演して頂いた。精度管理範囲内だがヘマトクリットが高値へシフトした例や連休明けからコントロールに異常がないにも関わらず白血球フラグが頻発した例など実際の体験例をもとに、対処方法などを説明頂き日常の機器トラブル対応に活かせる内容であった。メンテナンス講習開催の提案もあった。「誤差要因を考慮した CBC データを報告するための基礎知識」では、自動血球計数器の原理・測定方法とそれらが結果に影響する要因や電気抵抗法と光学式測定法の違い、赤血球・白血球・血小板それぞれの項目で偽高値・偽低値になった原因と真値を報告するための対処方法について実例を交えて講演頂いた。日常検査データを確認する上で大変役立つ内容で、日常業務にすぐに活かせるものだった。しかし、初級者や他部門を担当している技師で日当直時のみ血液データを見る技師にとっては多少難しい内容の部分もあった。初級者や日当直時のみ血液データを見るような他部門担当の技師にも役立つ内容の講演も企画していくことも必要と考えられた。「特徴点からみる末梢血液像の How-to～正常細胞と悪そうな細胞～」では、細胞観察の際は細部までよくみるのが重要であること、そしてその細胞がどのような臨床的意義を持つのか理解し、臨床へ有意義な報告を行うことが大切であると講演頂いた。

研修会当日は他の研修会やセミナーの開催があったにも関わらず、56名の参加者があり、充実した内容だったように思う。今後も宮城県臨床検査技師会員のための楽しく学べる血液検査研修会を多く開催し、勉強する場を提供したい。